



こんなところにも
もじ
文字が？

はなはな
はなはな
はなはな



お札に
バーコード？

お札の文字の

あな



この記号って
なに？

なつとく！



ぜんぶちが
全部違うことば？
なんでこんなに？



独立行政法人国立印刷局

お札と切手の博物館

お札にはどんな文字がある？

文字とは、ことば(言語)を伝えたり、記録に残したりするために、線や点を使って形作られた記号のことです。世界の国々にはそれぞれにことばがあり、それを表す文字は国によって違います。では、お札のどこにどんな文字が入っているのでしょうか。

題号

題号とはお札の正式な名前です。日本のお札の題号は、日本銀行券です。

記番号

お札にはアルファベットと数字の組み合わせの文字が入っています。お札ごとに違う番号です。

額面(金額) その1

お札の価値を金額で書き表したものです。ここにはアラビア数字(12345... で書き表す数字)で書いてあります。

額面(金額) その2

お札の価値を金額で書き表したものです。ここには漢数字で書いてあります。

人物名

現在発行されている5000円札の肖像(顔)は樋口一葉という明治時代の作家です。誰なのかが分かるように、名前が書いてあります。



日本 5000円 平成16 (2004) 年 76×156(mm)

発行元

お札を発行しているところの名前を示しています。日本のお札は日本銀行が発行しています。

印章(ハンコ)

表にあるハンコは日本銀行総裁のもので「総裁之印」と書かれています。総裁とは一番上の立場にいる人です。

銘版(製造元)

お札を作っているところの名前を示しています。日本のお札は独立行政法人国立印刷局で作っています。

ひみつの文字

ニセ札を作らせないように、ひと目みただけでは分からないような小さな文字や、お札をかたむけると見えるようになる文字など、ひみつの文字が入っています。

識別マーク

この八角形は触るとざらざらしていて、目の不自由な方が手触りで額面を区別できるようになっています。そのため、他の文字と同じように大切な役割を果たしています。

資料についているキャプションの内容は次のとおりです。

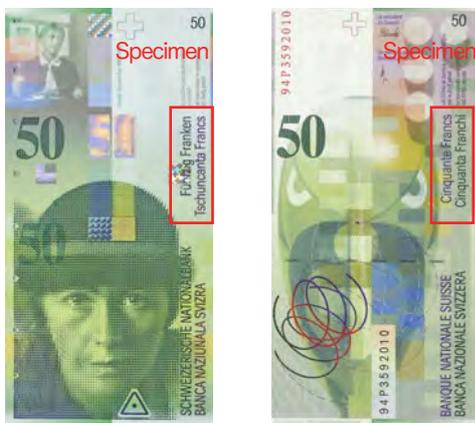
発行国、額面(金額、単位)、(裏面の場合は表記)、発行年、サイズ=縦×横(mm)

お札を使いやすくする

お札の額面(金額)がすぐに分かる、どこの国のお札が分かるなど、お札にとっては分かりやすさや使いやすさが重要です。文字で書いてあることによって、読むことができればすぐにいくらのお札なのかが分かり、どこの国のお札なのかも分かります。また、見やすい場所、見やすい大きさ、誰にでも分かりやすいなどの工夫が世界の国々のお札に入れられています。

世界のお札で見る額面の文字

世界の国々のお札の中には、数字だけではなく、ことば(言語)で額面を書いている国もあります。日本の公用語(その国の公の場面で用いられることば)は日本語ですが、世界の国々には公用語がいくつもあるところがあり、そのような国の中には、お札にも何種類かのことばで書いてあることがあります。いろいろな人が使うお札だからこそ、だれでも平等に使いやすいように書いてあるのです。ここでは、1枚のお札の中に、3種類以上のことばで額面を書き表している国のお札を紹介します。

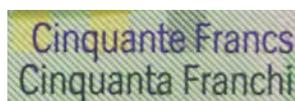


おもて表 裏
スイス 50フラン 1995年 148×74(mm)

スイスは、イタリア語、ドイツ語、フランス語、ロマンシュ語が公用語です。スイスのお札には4つのことばを額面ごとに表裏を入れかえて、平等に書き表されるようにしています。



ドイツ語
ロマンシュ語



フランス語
イタリア語

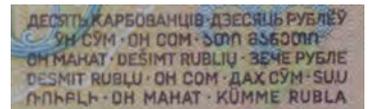


旧ソビエト連邦 10ルーブル(裏) 1961年 61×121(mm)

旧ソ連のお札には、国を構成していた15か国のことばで額面が書いてあります。旧ソ連崩壊後は、それらの国がそれぞれお札を発行しています。



ロシア語



ウクライナ語・ベラルーシ語

ウズベク語・カザフ語・グルジア語

トルクメン語・リトアニア語・モルドバ語

ラトビア語・キルギス語・タジク語

アルメニア語・アゼルバイジャン語・エストニア語

世界のお札で見る独自の数字

世界の国々にはそれぞれにことばがあり、それを表す文字は国によって違います。数字はアラビア数字（12345... で書き表される数字）が世界的にも多くの国で使われていますが、その国独自の数字がある国もあり、お札の額面をそれで表している国もあります。独自の数字で書き表すのは、その国らしさや、国民の愛国心を高めることにもつながります。

アラビア文字と類似の文字

イスラム教徒が多い国では、イスラム教にアラビア語が使われていることから、公用語（その国の公の場面で用いられることば）としている国が多くあります。パキスタンのウルドゥー語やイランのペルシア語のように、アラビア文字にいくつかの文字を足して表すことばもあります。アラビア文字には数字もあるので、これらの国々のお札には、額面がアラビア文字の数字で書き表されています。



イエメン 1000 リアル 2004年
85×155(mm)



イラク 250 ディナール 2003年
66×130(mm)



オマーン 1/4 リアル 1980年
70×135(mm)



ウルドゥー文字
パキスタン 5 ルピー 1983年
72×126(mm)

アラビア数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
アラビア文字の数字	٠	١	٢	٣	٤	٥	٦	٧	٨	٩
ウルドゥー文字の数字	٠	١	٢	٣	٤	٥	٦	٧	٨	٩
ペルシア文字の数字	٠	١	٢	٣	٤	٥	٦	٧	٨	٩



ペルシア文字
イラン 5000 リアル 1993年
75×154(mm)

なるほど！なっとく！お札の文字

アラビア数字はアラビア語の数字ではない？

アラビア数字は、実はインドで作られたものです。インドからアラビアに伝わり、そこでアレンジされたものがヨーロッパへと伝わり、そこでまたアレンジされたものが現在のものになりました。ヨーロッパでは「アラビアから伝わった数字」としてアラビア数字と呼んでいるのになら、日本でもアラビア数字と呼んでいます。

インド・ネパール ディバナーガリー文字



インド 500ルピー 2016年 66×150(mm)

インドの公用語はヒンディー語で、書き表す文字はディバナーガリー文字です。2300年ほど前に作られたブラーフミー文字から発展したもので、今のような形になったのは1000年ほど前だと考えられています。

アラビア数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ディバナーガリー文字の数字	०	१	२	३	४	५	६	७	८	९

モンゴル・モンゴル文字



モンゴル 1000トグログ 2013年 72×150(mm)

モンゴルの公用語はモンゴル語で、モンゴル文字で書き表します。800年前にウイグル文字を借りて作られたものですが、1941年以降、キリル文字（ロシア文字）を使った新モンゴル文字が使われるようになりました。1990年には伝統的なモンゴル文字の復活が認められ、今に至っています。

アラビア数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
モンゴル文字の数字	᠐	᠑	᠒	᠓	᠐	᠕	᠖	᠗	᠘	᠙

カンボジア・クメール文字



カンボジア 500リエル 2014年 64×138(mm)

カンボジアの公用語はクメール語で、クメール文字で書き表します。クメール文字は今から1200年前にも使われていた記録があります。

アラビア数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
クメール文字の数字	០	១	២	៣	៤	៥	៦	៧	៨	៩

エチオピア・エチオピア文字



エチオピア 5ブル 1997年 65×140(mm)

エチオピアの公用語はアムハラ語で、エチオピア文字で書き表します。3400年ほど前に作られた原シナイ文字から発展してできました。エチオピア文字は唯一アフリカで育まれた長い歴史のある文字です。

アラビア数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エチオピア文字の数字	፩	፪	፫	፬	፭	፮	፯	፰	፱	፲

ミャンマー・ビルマ文字



ミャンマー 1000チャット 2004年 70×150(mm)

ミャンマーの公用語はビルマ語（ミャンマー語）で、書き表す文字はビルマ文字です。800年ほど前に中国から移ってきたミャンマー族が、元から住んでいたモン族の文字を借りて新しい文字を作ったのが始まりです。

アラビア数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ビルマ文字の数字	၀	၁	၂	၃	၄	၅	၆	၇	၈	၉

みんなが使いやすいお札にするための工夫（点字）

お札には、目の不自由な方が額面（金額）を区別できるよう、インキが盛り上がるように印刷したりするなどの触って分かる工夫が入っています。分かりやすいようなマークや模様を入れるなど、国によって工夫の仕方は違いますが、中には「点字」で表している国があります。

点字とは？

点字は、6つの盛り上がった点の組み合わせで表す、目の不自由な方が主に使用する文字です。1825年、自身も全盲だったフランス人ルイ・ブライユ（Louis Braille）が発明しました。

日本では、明治時代にブライユの点字の方法を元にして日本語を表す点字を作ることが進められました。より使いやすいものにするために研究が重ねられ、明治34（1901）年に国から正式に目の不自由な方の文字として認められました。

点字（●=凸点、- =点のない部分）

日本語 清音 (50音)*一部

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の
は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん				

数字

数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

*数字（数字の前につける符号）とそれぞれの数字の点字で表します

アルファベット

外字 符 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

*外字符（アルファベットの前につける符号）とそれぞれの文字の点字で表します



レバノン 1000レバノンポンド 2011年 60×115(mm)
数字と数字の1を表しています。

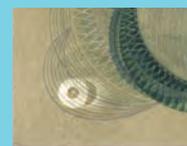


中国 100元 2015年 77×155(mm)
点がつながっていますが、点字の数字の100の形を表しています。

なるほど！なっとく！お札の文字

すき入れ（すかし）による識別マークの採用

日本のお札で最初に触って分かる工夫（識別マーク）がされたのは昭和59（1984）年11月発行のお札からです。改刷（お札の図柄を変更すること）を発表した昭和56年が国際障害者年だったことがきっかけとなりました。1000円が「あ」、5000円が「い」、10000円が「う」の点字文字を図案化したすき入れを入れたことで、使いこんでもすり減ることなく、偽造防止（ニセ札を作らせないこと）にも役立つものでした。これは世界的にもめずらしい画期的な方法でした。



1000円



5000円



10000円

みんなが使いやすいお札にするための工夫（マークや模様）

世界の国々では、点字のほかに目の不自由な方がお札の額面（金額）を区別できるようにするための、様々な方法がとられています。額面ごとに、違うマークを入れたり、形や数の違う模様やでこぼこを入れたりするなどの方法で触って分かるようにしています。

触って分かる工夫が世界で初めて入ったお札



オランダ 10ギルダー 1968年 76×136(mm)

左下の丸の部分は、触るとざらざらするように印刷されていて、額面ごとに違う形になっています。目の不自由な方が手触りでお札の額面が区別できることから大きな反響を与えました。



5ギルダー



25ギルダー

マークで見分ける

このタイプのお札の国：日本、ロシア、アルゼンチンなど



ポーランド 200ズウォティ 1994年 72×144(mm)
額面ごとに違う形のマークが印刷されています。

模様で見分ける

このタイプのお札の国：サウジアラビア、スイスなど



南アフリカ 100ランド 2012年 70×146(mm)
お札の端に線のような模様が入っていて、模様の本数や位置で額面を見分けます。



スロベニア 5000トラル 2000年 78×156(mm)
多くの国の場合、1つのマークで額面を表すことが多いのですが、このお札は、○=0、□=2、△=5のように1つのマークに1つの数字を当てています。

でこぼこで見分ける

このタイプのお札の国：イギリス、オーストラリアなど



カナダ 50ポンド 2012年 69.85×152.4(mm)
印刷ではなく、紙の一部を盛り上げて(エンボス)、その数で額面を見分けます。

一般的にお札は紙でできているので、金属製の硬貨（コイン）と比べると、素材そのものに価値があるわけではありません。そのためお金としての価値を持たせ、お札を信頼して使えるような工夫がされています。

発行元・サイン（印章）・銘版

お札には、製造元や発行元である政府機関や銀行の名前が書かれ、その発行元の総裁（一番上の立場の人）や財務長官のサインが入っています。どこで発行された、または、どこで作られたお札かを記すことで、お札の価値を保証しています。日本のお札にはサインはありませんが、代わりに印章（ハンコ）があります。なぜなら、欧米では公の文書にサインが使われ、日本やアジアの国々では署名・捺印（ハンコを押すこと）がされることが多くあるためです。

発行元

- BCE (フランス語、イタリア語、ポルトガル語、ルーマニア語、スペイン語)
- ECB (チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、ラトビア語、リトアニア語、スロバキア語、スロベニア語、スウェーデン語)
- EUB (ブルガリア語) EZB (ドイツ語)
- EKP (エストニア語、フィンランド語)
- ESB (クロアチア語) EKT (ギリシャ語)
- EKB (ハンガリー語) BCE (マルタ語)
- EBE (ポーランド語)



ユーロ 20ユーロ 2015年 72×133(mm)
左端にあるアルファベットは、EU加盟国それぞれのことばで書かれた、発行元である欧州中央銀行のイニシャルです。

サイン（印章）



シンガポール 1000ドル 1999年 83×170(mm)
シンガポール金融管理局長のサインと印章が入っています。



シエラレオネ 1レオン 1980年 69×149(mm)
銀行の総裁、副総裁、理事3人、合計5人のサインが入っています。

銘版

世界の国々のお札の中には、お札の製造元の名前が書かれているものがあります。これを銘版と呼んでいます。日本はその国の1つで、印刷局で製造した歴代のお札には、必ず銘版があります。特に昭和59（1984）年から発行されたお札には、印刷局の名称が変わったことから図柄は同じでも3種類の銘版があります。



日本 10000円 昭和59(1984)年 76×160(mm)



大蔵省印刷局製造

おくらしゅういんさつぎよく
大蔵省印刷局
しょうわ 昭和59(1984)年～



ざいむしゅういんさつぎよく
財務省印刷局

ざいむしゅういんさつぎよく
平成13(2001)年～



こくりつしゅういんさつぎよく
国立印刷局

こくりつしゅういんさつぎよく
平成15(2003)年～

お札の文字のデザイン(書体)

同じ字でも文字の形が変わることで印象が変わります。これは書体が違うからです。書体とは文字の姿のこと、楷書・行書・草書などの種類があります。

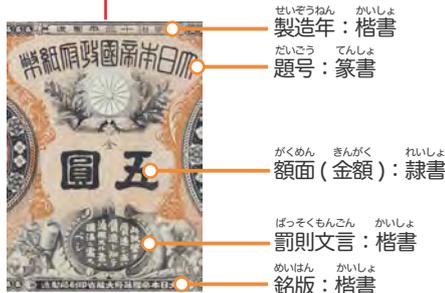
明治・大正期のお札には題号、額面(金額)だけでなく、支払文言や罰則文言、英語での表記など、現在よりも文字が多く書いてあり、使われている書体にもいろいろな種類がありました。現在のように統一されたのは、昭和26(1951)年からで、これが文字仕様の決まりとして現在に引き継がれています。



日本 5円 明治 15(1882)年
83×146(mm)
印刷局で作られた初期のお札です。
さまざまな書体が使われています。



日本 500円 昭和 26(1951)年
76×156(mm)
現在のお札と同じ「大蔵隷書」という書体に統一された最初のお札です。



なるほど! なっとく! お札の文字

大蔵隷書

現在発行しているお札の文字の書体は印章(ハンコ)以外、すべて「大蔵隷書」という隷書体が使われています。隷書体は、中国の漢時代に実用的な書体として作られました。横長の形で、横書きの文字配置にも向いていて、読みやすく、他の図柄とのバランスもとりにやすいことなどから、お札に使われています。また、伝統的な書体を使うことは、お札らしさを表現する上でも大きな効果も上げています。

記番号

お札には1枚1枚、区別するために違う記号と番号が書かれています。これを「記番号」と呼んでいます。現在どれだけのお札が発行されているのかわかるほか、二セ札の番号を目安に犯人をつかまえたり、注意を呼びかけることができるので、記号、番号は大変重要なものです。

日本で現在発行されているお札の記番号はアルファベットと数字を組み合わせたもので、横書きで左上と右下の2か所に入っています。昔のお札には4か所入っているお札や、漢数字の記号と番号で書かれたお札などがありました。世界の国々のお札では、記番号の書き方も様々です。



日本 10000円 昭和 33(1958)年 84×174(mm)
記番号が4か所に入っています。



サウジアラビア 5リヤル 2017年 66×145(mm)
アラビア数字とアラビア文字の数字で記番号が入っています。

偽造防止技術（ニセ札を作らせない工夫）の文字

ひと目見ただけでは気づかないくらい小さな文字やマークを入れたりして、ニセ札を作らせない方法は、日本を含む、世界の国々のお札で見られます。ニセ札を作る犯人が本物のお札を書き写したり、コピー機等でコピーしたりしたとしても、このような文字ははっきりと写らないので、ニセ札かどうか見分けることができるのです。



アルゼンチン 500ペソ 2016年 156×65(mm)
ジャガーの足元に「\$ 500BCRA500BCRA…」とマイクロ文字が入っています。



エジプト 200ポンド(裏) 2007年
80×176(mm)
エジプトの古代文字である、ヒエログリフの背景に、マイクロ文字で「EGYPT IS PEACE」と入っています。

なるほど！なっとく！
お札の文字
マイクロ文字

「マイクロ」とはとても小さいという意味で、通常では気がつかないくらい小さな文字やマークを印刷して、コピーによるニセ札づくりを防いでいます。日本のお札にも、小さいものでは0.2mmほどのマイクロ文字が入っています。

お札の文字にはこんな役割も！ デザインとしての文字

肖像（顔）や図柄にその国を代表する人や事柄が使われているように、文字でもその国を表すものが使われているお札があります。また、お札は毎日のように国民が見るものなので、広告のように主義（考え方）を伝えるものとして効果的です。そのため、テレビや新聞、インターネットなどの情報手段があまりなかった時代のお札には、国の主義を伝えるための国民に向けた言葉が入ったものもあります。



日本 2000円(裏) 平成12(2000)年 76×154(mm)
「源氏物語絵巻」第38帖「鈴虫」の絵図に詞書を重ねた図柄です。源氏物語は、今からおよそ1000年前の平安時代中期に、紫式部によって書かれたもので、世界に誇るべき文学作品であることから選ばれています。



旧ソビエト連邦 500ルーブル(裏) 1919年 74×110(mm)
旧ソ連のお札では、思想家マルクスの言葉「万国の労働者よ団結せよ！」をロシア語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語、アラビア語の7つのことばで書いてあります。

安心して使うことができるお札を作る

お札に書いてある文字が、お札を信頼できるものにするために大きく関わっていることを見てきましたが、もしも書いてある文字がきちんと読めないようなお札だったとしたら、それが本物のお札だったとしても、その信頼は揺らいでしまいます。

世の中にそのようなお札が出回ったら、買物をしたくてもお店の人に「ニセ札かも…」と疑われ、受け取ってもらえないことが出てくるかもしれません。つまりお札を作るには、正確に、美しく印刷する技術がないと成り立たないのです。

お札ができるまで



原版を彫る
金属の板に特別な彫刻刀で
図柄を彫ります



版面を作る
メッキをかけた丈夫な版面
を作ります



インキを作る
色々な種類・色のインキを
作ります



模様を印刷する
裏・表の順に模様を印刷します

主要参考文献

- 『ふしぎ?おどろき!文字の本2 世界の文字』町田和彦監修 ポプラ社 2011
- 『言語学大辞典第6巻』亀井孝・河野六郎・千野栄一編 三省堂 1988
- 『数字の歴史 人類は数をどのように数えてきたか』ジョルジュ・イフラー 松原秀一・彌永昌吉監修 彌永みち代・丸山正義・後平隆 平凡社 1988/『ヒエログリフ入門』吉成薫 六興出版 1988
- 『もっと知ろう!点字』和田勉監修 ポプラ社 2017/『正倉院文書の世界〜よみがえる天平文化の時代〜』丸山裕美子 中公新書 2010
- 『お札の文化史』植村峻 NTT出版 1994/『紙幣肖像の近現代史』植村峻 吉川弘文館 2015/『世界の通貨ニュース』各号
- 『お金の履歴書 [ミニ博物館]』田中哲二 東洋経済新報社 1983
- 『お金の教科書 ⑦お金のマメ知識を楽しもう!』坂本綾子監修 株式会社学習研究社 2009
- 「さまざまな藩札—偽造防止の工夫」稲葉政満 『にちぎん』第五巻 第一号 通巻一七号 2009
- 「もじモン探偵団 FILE5 お札の文字」雪朱里 『デザインのひきだし 第31号』2017/『日本貨幣カタログ2018』日本貨幣協同組合
- 『Standard catalog of WORLD PAPER MONEY 21st Edition』Haper Collins publishers, 2015 Edited by George S.Cuhaj
- 『郵趣モノグラフ 23 日本切手の凹版彫刻者たち〜切手とお札を彫った人々〜』植村峻 公益財団法人日本郵趣協会 2015
- 『印刷事典 第五版』社団法人日本印刷学会編集 財団法人印刷朝陽会 2002/『日本銀行券製造100年 歴史と技術』大蔵省印刷局 1984
- 『政府印刷事業史』独立行政法人国立印刷局 財団法人印刷朝陽会編集 財団法人印刷朝陽会発行 2005
- 『お札のなぞ ワールドトレジャー!!お札で学ぶ地理・歴史』パンフレット お札と切手の博物館 2010
- 平成26年度第2回特別展 『紙幣と官報2つの書体とその世界』パンフレット お札と切手の博物館 2016
- ウェブサイト:各国中央銀行・発券機構ウェブサイト/外務省ウェブサイト

令和元年度第1回特別展 なるほど!なっとく!お札の文字のひみつ パンフレット

発行日 令和元年7月17日

編集・発行 独立行政法人国立印刷局 お札と切手の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1丁目6-1 TEL 03-5390-5194